

	<p>学校だより</p> <h1>おやまがおか</h1>	<p>町田市立小山ヶ丘小学校 校長 大川 優 2026（令和8）年 4月6日 発行 第287号</p>
<p>〒194-0215 町田市小山ヶ丘五丁目37番 電話 042-770-6251</p>		

「誰もが笑顔で輝く小山ヶ丘小学校に」

校長 大川 優

学校に子どもたちの元気な挨拶の音が響き、105名の新1年生を含め、773名で、新年度がスタートいたしました。お子様の御入学、御進級、心よりお祝い申し上げます。

町田市は、20年ぶりに市長が交代し、稲垣康治市長が就任されました。先日の市議会での所信表明においては、3つの柱となる施策の方向性の一つに「教育の推進」が掲げられ、「共感と対話を大切に、思いやりを育む多様な教育を通じて、誰一人取り残さない共生社会を実現すること」を示されています。また、「市民の皆様にとって『誇れる町田』を実現していく。」という決意も述べていらっしゃいました。町田市立学校の校長として、その実現に向けて微力ながら全力を尽くしてまいります。

さて、私はできる限り毎朝夕、校門に立ち、登下校している子どもたちと挨拶を交わしています。元気いっぱいの「おはようございます。」「さようなら。」という声に力をももらうことも多く、この一瞬の触れ合いの中で、子どもたちが見せてくれる笑顔を見るたびに胸が熱くなります。この登下校時の何気ない交流こそが、かけがえのない貴重なひとときであり、元気の源となっています。

私の教育哲学はシンプルです。「全ての教育活動は、子どもたちの笑顔（目の前にある笑顔から、将来の笑顔まで）のために行われるべきである。」

子どもを目の前にした、今この瞬間の弾けるような笑顔はもちろん、困難にぶつかっても自分を信じて前を向いて歩み続けた先にある「将来の笑顔」の種を蒔かなければなりません。そして、その笑顔を支えるためにあり、私が人生で一番大切だと考えていることは「信頼」です。一朝一夕で築くことはできず、その人の発する言葉、態度・行動のすべて、その積み重ねから信じるに値するか、頼りにしてもらえるかが決まるものです。

子どもたちが自分を信じ、他者を信じて伸びやかに育つためには、まず、私たち大人が信頼し合う姿を見せることが大切です。保護者の皆様は単なる協力者ではなく、お子様の健全な成長を共に願い、育んでいく「最強のパートナー」だと考えています。大人がお互いの専門性を尊重し、笑顔で手を取り合う。そんな安心感あふれる土壤があって初めて、子どもたちは真の笑顔を咲かせることができるのではないのでしょうか。

そのためには、保護者の皆様の笑顔、そして、学校で子どもたちと向き合う教職員の笑顔も同じように大切にしなければなりません。大人が心にゆとりをもち、いきいきと活動する姿は、子どもたちにとって心の糧となるはずです。

前述しましたが、信頼は一朝一夕に築けるものではありません。日々の対話を積み重ね、私自身、教職員一同が、皆様の声に真摯に耳を傾け、誠心誠意、一つ一つの教育活動に邁進してまいります。至らぬ点もあると存じますが、お子様の「今と未来」の笑顔のために全力を尽くすことをお約束します。

「がおかでよかった。」と、子どもも、保護者も、教職員も、皆が笑顔で語り合える、「誇れる小山ヶ丘小学校」を、皆様と共に創り上げていきたいと思っております。

今年度も、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきたく、よろしく願い申し上げます。